

# 県立高校生学習活動コンソーシアム

## ★ 県立高校生学習活動コンソーシアムとは

- 各学校が育成したい生徒像に必要な力を身に付けさせる中で、より効果的に取組を推進させる方法の一つとして、自校以外の教育力の導入を支援するものです。
- 県教育委員会では、生徒の学習意欲や興味・関心、さらには進路希望の実現に向けた学習ニーズに対応するため、大学、短大、専修学校各種学校協会等の教育機関や企業などと「連携と協力に関する協定」を結んで、「県立高校生学習活動コンソーシアム」を形成しています。  
(平成 29 年 7 月時点で、33 大学、11 短大、神奈川県専修学校各種学校協会、4 経済団体、9 企業が参加しています。参加機関数は漸次増加しています。)

## ★ 活用のステップ

### STEP 1 : 手立ての検討

- 育成したい生徒像に必要な力を身に付けさせる取組を考える中で、外部資源の活用が効果的と考えられる場合、コンソーシアムの活用を検討します。
- ※ 生徒の状況等から、総合的な学習の時間や教科の授業等で活用したい外部資源をイメージします。



### STEP 2 : プログラムを探す

- 県教育委員会の「県立高校生学習活動コンソーシアム」ホームページを利用して、アイデアを実現させるための連携機関や提供プログラムを探します。
- ※ (プログラムが見つからないときは)
  - ・提供プログラムは、各校の事情に応じて柔軟に対応してもらえるケースもあります。連携を希望する機関にアイデアを伝えて相談してみてください。



### STEP 3 : 連携先へ相談する

- 「県立高校生学習活動コンソーシアム」のホームページにアクセス！  
連携先担当者に直接連絡し、取組の詳細について相談します。
- ※ 連携希望先が「企業」や「リンク未設定」の場合は高校教育企画グループへ連絡ください。

★ 提供プログラムの紹介（例）

- 課題解決型の授業をやってみたい ⇒ 「大塚製薬株式会社横浜支店」
- 開発やマーケティングを体験しながら学びたい ⇒ 「横浜商科大学」

★ よくある質問にお答えします！

【Q1】今までの高大連携の取組と何が違いますか。

⇒ 県教育委員会が参加機関と連携協定を結ぶことで、企業も含め連携できる機関が増えました。その結果、各校は様々なプログラムが活用できるようになりました。

【Q2】今まで個別に結んでいた協定や連携はどうなりますか。

⇒ 各校が大学等と個別に取り組んできた連携や協定はこれまで通り尊重します。なお、その大学等がコンソーシアムの参加機関である場合は、個別に取り組んできた連携の取組も、当該高校向けのプログラム提供との視点により、コンソーシアムの取組の一つと位置付けられます。

【Q3】大学等への連絡は担当者が直接してよいですか。

⇒ 管理職の先生が承知している内容であれば、担当者からの連絡で構いません。

【Q4】専門学校とは連携できますか。

⇒ 神奈川県専修学校各種学校協会がコンソーシアムに参加していますので、その会員である専門学校には直接連携の相談ができます。

【県立高校生学習活動コンソーシアム参加機関（平成29年7月13日時点）】

○大学、短大、専修学校各種学校協会

神奈川大学、神奈川工科大学、鎌倉女子大学/短期大学部、関東学院大学、北里大学、国際医療福祉大学、産業能率大学、相模女子大学/短期大学部、湘南工科大学、昭和音楽大学/短期大学部、女子美術大学/短期大学部、聖マリアンナ医科大学、専修大学、中央大学、鶴見大学/短期大学部、田園調布学園大学、桐蔭横浜大学、東海大学、東京家政学院大学、東京工芸大学、東京都市大学、東京農業大学農学部、東京農工大学、日本映画大学、フェリス女学院大学、文教大学湘南校舎、法政大学、横浜国立大学、横浜市立大学、横浜商科大学、横浜創英大学、横浜薬科大学、和光大学、和泉短期大学、小田原短期大学、神奈川歯科大学短期大学部、上智大学短期大学部、湘北短期大学、戸板女子短期大学、神奈川県専修学校各種学校協会

○経済団体、企業等

神奈川県経営者協会、神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、神奈川県中小企業団体中央会、大塚製薬横浜支店、マイナビ、横浜岡田屋、神奈川新聞社、第一三共、横浜銀行、アド・ソアー、第一生命保険、tyotto



県立高校生学習活動コンソーシアム 🔍

問合せ

（コンソーシアム全般）高校教育企画グループ

電話(045)210-8254

（教育内容・指導方法）教育課程指導グループ

電話(045)210-8260